



## 2022年 第11号 ご挨拶

みなさま、このたび新しく KPMG 中国 GJP 中国総代表となりました林田弘徳です。ももとは日本の公認会計士で、中国は今年で 10 年目。KPMG あずさ監査法人でパートナーをしていましたが、2019 年に KPMG 中国に所属を変更し、中国に腰を据えて取り組むことに致しました。どうぞよろしくお願い致します。

2022 年も残すところあと 1 か月となりました。足元は中国内の感染が急拡大していますが、世界はアフターコロナに向かっており、2023 年はグローバル経済の交流が活発になることを期待しています。今月号では、KPMG による 2023 年のマクロ経済トレンドをご紹介します。また、世界中の CEO に対して今後の経済の見通しや自社の成長予想についてアンケートした調査レポートをご紹介します。多くの経営者が今後短期的には景気の低迷が続くことを予想していますが、中長期的には経済成長が続くと考えているようです。特に中国経済の見通しについては引き続き楽観的な見方が多いという結果になりました。現状英語と中国語のみですが、日本語版も今後作成予定です。また、日系企業の不正に関する調査報告も大変興味深い内容になっています。上場企業の 4 社に 1 社が過去 3 年以内に不正事案を経験しています。不正の主な発生場所は本社ではなく、国内外の子会社とのこと。また、コロナによる働き方の変化に伴い不正のリスクが増大していると考えている企業が大半で、行動規範等の整備やグループガバナンスの高度化に高い関心が寄せられています。また近年話題になることも多い品質不正についても、調査報告に含めております。

中国内でも景気刺激策として様々な新しい税法の改正などが期待されています。今後もタイムリーな情報提供を続けてまいりたいと存じます。年末および春節に向けて忙しい時期が続くものと思いますが、我々 GJP も皆様とともに "Together, For Better" で頑張ってまいります！

KPMG 中国 GJP 中国総代表 林田 弘徳

## 1. 2023 年のマクロ経済トレンドの展望トップ 10

2023 年はマクロ政策により安定した成長基調が維持され、不動産市場による経済への足かせは軽減される見込みです。2022 年の低いベースと相まって、2023 年の経済成長率は今年より改善し、5.2%の成長が見込まれます。中国の経済成長が加速するものの、全体として回復の勢いはまだ弱く、内需のさらなる拡大と市場の信頼感の向上が必要であるとも見ておく必要があります。

- 1) マクロ経済成長率は上昇したが、回復力はまだ弱い
  - 2) 高齢者へのワクチン接種、医療資源の準備、世論喚起などに配慮し、防疫・抑制政策を順次自由化
  - 3) 疫病の緩和で消費は改善し、貯蓄が消費回復を助ける
  - 4) ハイテク製造業と新エネルギーが投資の伸びを牽引
  - 5) マクロ経済政策は引き続き前向きで、政策立案金融手段は支援を強化
  - 6) 不動産市場は引き続き低調だが、経済の足かせにはなりにくい
  - 7) 世界経済の成長鈍化、外需不振で輸出も圧迫
  - 8) 米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースが鈍化し、人民元為替レートと資本市場への圧力が減少
  - 9) 地政学は依然として複雑で不安定、企業はリスク対応策を検討する必要あり
  - 10) 基礎研究開発の加速と国家安全保障体制の整備
- > [全文はこちら](#)（中国語）

## 2. 中国経済モニター-2022 年第 4 四半期

2022 年 1～9 月の中国 GDP は前年同期比 3.0%増。第 3 四半期の GDP は 3.9%増となり、第 2 四半期を 3.5 ポイント上回り、市場予想を上回った。前四半期比では、第 3 四半期の経済成長率は 3.9%となり、第 2 四半期のマイナス 2.6%から大きく改善しました。COVID-19 の大流行、不動産市場の減速、地政学的課題の継続が、第 2 四半期も中国の経済成長に影響を及ぼした。第 3 四半期には成長のモメンタムが改善し、中国経済の回復力が示されました。

> [全文はこちら](#)（日本語）

## 3. 専門家から見た ESG

ESG（Environmental, Social and Governance）とは、人間活動と環境との調和を尊重する考え方です。気候危機が迫っている現在、優れた社内管理と ESG の調和は、将来の持続可能な発展を実現するために必要な方法であり、人類文明の発展に必要なものであると言えます。KPMG は、企業の持続可能性を高め、社会の持続可能な発展を促進する過程での価値創造を支援しています。本年半ばに開始した第 1 回「KPMG 未来 ESG 賞 2022」に続き、今回は、KPMG 中国の社内専門家 10 名が、政策環境、市場環境、グリーン金融環境、業界の現状と動向、さらには企業のベストプラクティスや専門的ソリューションについて意見を述べる「専門家の目を見た ESG」ビデオシリーズを開始します。政策環境、市場環境、グリーンファイナンス環境、業界の現状と動向、企業のベストプラクティスや専門的ソリューションの観点から、注目の ESG 課題を分析していますのでご覧ください。

> [全文はこちら](#)（中国語）

## 4. 2022 年中国 CEO Outlook

KPMG 中国は、「China CEO Outlook 2022」レポートを発表しました。この報告書では、多くの起業家は現在の世界経済が多くの課題に直面しており、来年には景気後退を経験するかと考えていますが、起業家はこの景気後退が穏やかで短期的なものであると考え、中長期的な成長に自信を持っているという結果が出ています。このような課題に直面する中、企業経営者は、急速に変化する市場環境の中で事業の回復力を高め、成長するために様々な手段を積極的に講じています。

> [全文はこちら](#)（中国語）

## 5. 中国消費財小売業 四半期報告書

厳しい経済状況にもかかわらず、中国の消費財小売セクターは上昇基調を維持しています。多くの企業がポストエピソード時代に注目し、消費者の好みに合わせて積極的に調整し、成長の可能性を最大限に高めています。この点に関して、本レポートでは、消費財小売業の5つの主要サブセクターの発展動向とそれに対応する投資取引の回復について詳細に分析し、業界関係者がポスト不況期における業界の位置付けを見直し、成長性を最大化するのに役立つ情報を提供しています。

> [全文はこちら](#) (中国語)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



### Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: [gjpmarkets.china@kpmg.com](mailto:gjpmarkets.china@kpmg.com)

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+86(21)22122247) (日本語)